

第1回

災害時等対応歯科衛生士養成研修事業

日本歯科衛生士会の

災害体制・広島県の活動・GW

災害時に「動ける歯科衛生士」を目指して

もし明日、あなたの地域で災害が起きたら？

災害時には、避難所や在宅療養者への口腔健康管理が重要となります。

歯科衛生士の専門性を活かし、災害関連死を防ぐために

必要な知識と実践力を学びましょう。



日時

令和8年 8月2日(日)

13:00～16:00 (180分・3時間)



会場

広島県歯科医師会館 5階

(広島市東区二葉の里3丁目2-4)

研修プログラム

開会	開会・研修の趣旨説明 ・事業の位置づけ、3回の研修の全体像 ・修了後に期待される役割の説明	広島県歯科衛生士会 会長 三好 早苗 先生	10分
1	日本歯科衛生士会の 災害体制の仕組み ・日本歯科衛生士会の組織体制と 災害対策委員会の役割 ・JDAT(歯科医療支援チーム)の 概要と派遣の流れ ・災害時における歯科衛生士の 役割と会員への期待	 日本歯科衛生士会 副会長 久保山 裕子 先生	60分
2	災害時に生きる 平常時の歯科保健活動 ・広島県の災害特性と過去の支援活動の事例 ・地域での歯科衛生士の具体的な動き方 ・支援活動を通じて見えた課題と今後の展望	広島県歯科衛生士会 会長 三好 早苗 先生	30分
GW	グループワーク 「もし明日災害が起きたら 自分の地域・職場では誰がどう動くか」 グループ発表・全体討議	ファシリテーター (災害口腔保健衛生士)	60分 (35分) (3分×8G) 25分
GW総評		日本歯科衛生士会 副会長 久保山 裕子 先生	10分
	広島県の災害時の指揮系統について	広島県歯科衛生士会 会長 三好 早苗 先生	10分

久保山 裕子 先生からのコメント

✓ 災害時の死因に多い呼吸器疾患は、
発災2週間後から急増します。✓ 避難所などの、環境が整わない中で
の生活では口腔衛生が落ちるため、
水不足でも可能なケアの周知が
大切です。✓ また、命を支える「食べる機能」を
守るには、高齢者などの高リスク者
を素早く見つけ出し、介入する必要
があります。✓ 食形態の配慮など、先手を打った
サポート体制を皆さんと共に築き、
災害関連死を防いでいきましょう。

対象 広島県内の歯科衛生士

定員 40名(先着順)

受講料 無料

申込方法

右記QRコードまたは
申込フォームより
お申し込みください。

申込締切

令和8年7月24日(金)

申込みフォーム

災害に備え、口腔ケアで命を守る。
歯科衛生士の力が、地域を支えます。

皆さまのご参加をお待ちしています！



主催

一般社団法人
広島県歯科衛生士会

お問い合わせ

広島県歯科衛生士会 事務局

☎ 082-264-8864

✉ h.dh@do.enjoy.ne.jp